

私達の生活と税金のつながり

名古屋市立御田中学校 3年 蒲田 璃子

私は約十年程前に両親が離婚をし、母と姉と三人で名古屋に引っ越して来ました。

私の母は児童扶養手当を受けています。児童扶養手当とは、母子父子家庭の人で十八歳以下の子供を監護している人に給付され、それらは税金で賄われています。この手当のおかげで、他の一般家庭の子達と同じように学校へ行き、幸せで楽しい生活が出来ている事を知りました。私の姉も授業料軽減補助金をもらい、私立の高校に通っています。私立の高校はお金がないと行けない。と知っている人も多いと思いますが、ここ愛知県は保護者の所得によって補助金が出され、親の収入で行きたい学校に行けないなどの事がない様、平等に私立の学校を選ぶ事が出来ます。

これも私達子どもが税金で守られ、平等に権利を与えてもらっているのです。

その他にも、私自身も登録している「子どもの縁の下サポート。」という、ひとり親家庭や生活保護世帯等の中学生を対象に、名古屋市が事業者に委託し実施している学習支援事業があります。学習会場は各区の児童館や地域のコミュニティセンター、消防署等、市内の公共施設を借りて、私達に学習の場所を提供してもらっています。そこにはサポーターさんがいて、学習だけでなく悩み事なども聞いてくれて、私達の側にいつも寄り添ってくれています。私達の居場所を与えてもらっている事も母から教えてもらいました。

母子家庭は世間の目が冷たくなる事も、一人で子供を育てる事など辛い思いや大きな不安をもつ人は少なくないと思いますが、このような制度のおかげで、少しでも安心して子育てが出来ているのだと私は思います。

税金がこんなにも身近で私達を支えてくれている事。税金がこんなにも私達国民の役に立ってくれている事。私が今まで特に不自由なく幸せに暮らせていたのは、税金のこのような使い方があったからだと思いました。

国民の役に立ち国民の生活を支えている税金は無くしてはならないものだと感じました。景気が悪いと言われる今のこの世の中だからこそ一人一人が協力し、より良い世の中になってほしいと思いました。

今回この作文で初めて税について考え学ぶ機会があり、私は困っている人を助けたり、これから私達が大人になりお父さんやお母さんになった時に、自分の子供や次の世代を担う子供達のために、より良い教育や生活を与えてあげられるように、これからの日本がもっと安心して生きられる国になるのであれば、いつかの自分の貯金だと思い、しっかり税金を収められる大人になりたいと思います。

昔の人々が力を合わせ守ってきた日本という国を私達ももっと良くして次の世代に渡せるように、みんなが幸せに生活する事が出来るように。そんな世の中を作っていくための資金。それが税金だと思えるようになりました。